

地区スローガン：「ロータリーから千葉を元気に」
会長方針：「温かいクラブ・活気のあるクラブ・調和のとれたクラブ」

国際ロータリー第2790地区 第3グループ

千葉西ロータリークラブ

Rotary Club of Chiba-West

WEEKLY COMMUNICATION

創立 1976年1月20日 承認 1976年2月25日
会長 野口アキ子 幹事 飯高喜代志
例会場 千葉スカイウィンドウズ 東天紅 センシティタワー23階
TEL 043-238-5555
例会日 毎週火曜日 12:30~
事務局 千葉市中央区新田町12-1 トーシン千葉ビル7階
TEL 043-245-3202 FAX 043-245-7522
E-mail : chibawestrc@wrpc.co.jp
URL : http://www.chibawest-rc.net/

■ 会長挨拶 / 野口アキ子 会長

こんにちは

昨年は9月、10月と台風、大雨災害に見舞われ大変な被害もできました。今年の夏も猛暑になりそうです。当然のように海水温も上昇し災害が発生してもおかしくない状況になるのではと考えられます。災害は待たなし「どう備える防災対策」についてお話しさせていただきます。大地震や台風、豪雨など避けることのできない天災、そして現在は、感染症対策も重要視されています。命を守り被害を最小限に抑えるための万全の備えはできていますか？

※食料・生活必需品は常に十分な備蓄はありますか

いつ起きるか、わからない大地震、毎年大きな被害をもたらしている大雨や台風に災害への備えとして「避難所に行かずに自宅で過ごせる対策を取ることを」提唱されています。「避難所の生活は心身ともにストレスがかかり、高齢になると避難所に行くこと自体が難しくなることもあり、多くの方が集まるので感染症のリスクもあるそうです」以前から密集、密閉、密接が重なる避難所ではノロウイルスやインフルエンザの感染起きているそうです。更に今年は新型コロナウイルスの感染拡大リスクが問題視されており、今回のコロナ禍では緊急事態宣言の直前にお米や乾麺といった食料品やトイレットペーパーなどの買い占めが起きました。「食料品も日用品も災害に備えて余裕をもって備蓄していれば、買い占めは起きていなかったのではないのでしょうか。なくなったら買う、という人が多かったのでは・・・災害だけでなく、感染症の大流行で外出できなくなったときに、自宅で過ごすためにも十分な備蓄が必要です。」

※シンプルな暮らしで自宅を安全な場所に

大地震が起きても自宅で過ごすためには「自宅をできる限り安全な場所にしておくこと」だそうです。家の中を片づけて物を減らし、シンプルな暮らしをすることが安全につながるそうです。家具や電化製品は必要最小限にして、必ず固定しましょう。引き出しも飛び出さないようにストッパーをつけ、食器棚は固定するだけでなく食器の下に滑り止めシートを敷き、ガラス扉にはガラス飛散防止シートを貼ります。ガラスは割れると怪我の危険があり、逃げる時の妨げにもなります。そして、家族の集まるリビングの家具も小物も必要最小限にし、照明器具は落下しても割れにくいアクリル製を使用するなど工夫を普段から心がけて見ませんか。（私も緊急事態宣言中は「断捨離」を行い思いきって処分しました。もったいない精神を捨てると掃除もラクです。）

ただ、水害や土砂災害の際は、自宅にとどまるのが危険な場合もあります。台風や大雨は事前に予測できますので、危険が迫る前に、早めに安全な地域にある親戚や友人の家に身を寄せる事も家族で話し合うのも大切ですね。「のど元過ぎれば熱さを忘れる」をなくしたいですね

「もうこりごりシート」を作って見ては？

例えば「コロナ禍ではトイレットペーパーやマスクが買えなくて困った」

「昨年の台風では、停電で懐中電灯の電池がなくて困った」

「窓が割れるのではないかと気が気ではなかった」等、今まで経験した事を「こりごりシート」に書き出し反省材料にすることも良いことではないでしょうか

今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止により例会の開催も余儀なくされて各奉仕委員会の委員長様には「1年を顧みて」も広報紙で皆様にお届けして参りました。

最後の会長、幹事の原稿は6月30日の最終例会において原稿のみと予定しておりましたが理事会席上で改めて8月18日（夜例会）に会長・幹事ご苦勞様会を開催することが承認されました。年度を超えた異例な開催になりますが次年度会長・幹事初め会員の皆様のご理解とご協力に感謝申し上げます。会長のご挨拶といたします。

